

飼養動向: 乳用牛

- ・飼養戸数は、毎年、年率4%程度の減少傾向で推移しており、27年は4.8%の減少。飼養頭数は、減少傾向で推移。
- ・一戸当たり経産牛飼養頭数は増加傾向で推移。
- ・経産牛一頭当たり乳量は22～23年度にかけては22年の猛暑の影響等により減少したが、24年度以降は毎年増加傾向で推移。

○乳用牛飼養戸数・頭数等の推移

区分／年		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
乳用牛飼養戸数(千戸)		26.6 (▲4.0)	25.4 (▲4.5)	24.4 (▲3.9)	23.1 (▲5.3)	21.9 (▲5.2)	21.0 (▲4.1)	20.1 (▲4.3)	19.4 (▲3.5)	18.6 (▲4.1)	17.7 (▲4.8)
うち成畜50頭以上層(千戸)		7.7	7.6	7.6	7.8	7.3	7.1	7.0	6.9	6.8	6.4
戸数シェア(%)		(29.3)	(30.4)	(31.4)	(34.1)	(33.7)	(34.1)	(34.9)	(35.9)	(37.3)	(36.9)
乳用牛飼養頭数(千頭)		1,636 (▲1.1)	1,592 (▲2.7)	1,533 (▲3.7)	1,500 (▲2.2)	1,484 (▲1.1)	1,467 (▲1.1)	1,449 (▲1.2)	1,423 (▲1.8)	1,395 (▲2.0)	1,371 (▲1.7)
うち成畜50頭以上層(千頭)		980	971	961	986	983	987	980	944	948	940
頭数シェア(%)		(60.8)	(61.9)	(63.8)	(66.7)	(67.3)	(68.5)	(68.9)	(67.8)	(69.7)	(70.4)
うち 経産牛頭数		1,046	1,011	998	985	964	933	943	923	893	870
一戸当たり	全国	39.3	39.8	40.9	42.6	44.0	44.4	46.9	47.6	48.0	49.1
経産牛頭数(頭)	北海道	57.2	56.8	59.5	62.4	63.6	63.9	68.1	68.1	68.2	68.8
都府県	都府県	30.8	31.5	31.7	32.5	33.2	33.6	34.9	35.9	36.2	37.2
経産牛一頭当たり	全国	7,867	7,988	8,012	8,088	8,047	8,034	8,154	8,198	8,316	-
乳量(kg)	北海道	7,849	8,032	8,046	8,027	8,046	7,988	8,017	8,056	8,216	-

資料: 農林水産省「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」

注: 各年とも2月1日現在の数値である。ただし、経産牛一頭当たり乳量は年度の数値である。

飼養動向：肉用牛

- 飼養戸数は、小規模層を中心に減少傾向で推移し、27年は5.4%の減少。
- 飼養頭数は、18年以降、緩やかに増加傾向であったが、22年以降減少に転じ、27年は3.0%減少。
- 飼養戸数、飼養頭数とも減少しているものの、肥育牛を中心に一戸当たり飼養頭数は増加傾向。
- 子取り用めす牛の飼養頭数は、22年をピークに減少しているものの、27年は減少幅が縮小。

○ 肉用牛飼養戸数・頭数の推移

区分／年		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
肉用牛	戸数(千戸)	85.6	82.3	80.4	77.3	74.4	69.6	65.2	61.3	57.5	54.4
	(対前年増減率)	(▲4.5)	(▲3.9)	(▲2.3)	(▲3.9)	(▲3.8)	(▲6.5)	(▲6.3)	(▲6.0)	(▲6.2)	(▲5.4)
	頭数(千頭)	2,755	2,806	2,890	2,923	2,892	2,763	2,723	2,642	2,567	2,489
うち	戸数(千戸)	73.4	71.1	69.7	66.6	63.9	59.1	56.1	53.0	50.0	47.2
子取用 めす牛	頭数(千頭)	622	636	667	682	684	668	642	618	595	580
うち	1戸当たり(頭)	8.5	8.9	9.6	10.2	10.7	11.3	11.4	11.7	11.9	12.3
肥育牛	戸数(千戸)	17.7	16.7	16.5	16.8	15.9	15.2	14.3	13.5	13.1	11.6
	頭数(千頭)	1,768	1,801	1,837	1,842	1,812	1,718	1,702	1,663	1,623	1,568
	1戸当たり(頭)	99.9	107.9	111.3	109.6	114.0	113.0	119.0	123.2	123.9	135.2

資料：農林水産省「畜産統計」（各年2月1日現在）

注1：子取用めす牛と肥育牛を重複して飼養している場合もあることから、両者の飼養戸数は肉用牛飼養戸数とは一致しない。

注2：肥育牛は、肉用種の肥育用牛と、乳用種の和としている。

飼養動向:豚

- 飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に年率1割を超える割合で減少してきたが、10年以降、減少率は鈍化傾向で推移。
- 飼養頭数は、15年はBSE発生による豚肉需要の増加に支えられ、大規模飼養者層における規模拡大等によりやや増加したが、16年以降は増減を繰り返しており、23年以降はやや減少。
- 一戸当たり飼養頭数は着実に増加。

○豚飼養戸数・頭数の推移

(各年2月1日現在)

区分／年	16	18	19	20	21	23	24	25	26
飼養戸数(千戸)	8.9 (▲5.8)	7.8 (▲12.2)	7.6 (▲3.2)	7.2 (▲4.2)	6.9 (▲4.7)	6.0 (▲12.8)	5.8 (▲2.8)	5.6 (▲4.6)	5.3 (▲5.4)
うち肥育豚千頭以上層(千戸)	2.0 (27.2)	2.0 (30.7)	2.0 (31.0)	2.1 (33.7)	2.1 (34.2)	2.0 (37.0)	2.0 (38.7)	1.9 (38.4)	1.9 (40.7)
戸数シェア(%)									
飼養頭数(千頭)	9,724 (0.0)	9,620 (▲1.1)	9,759 (1.4)	9,745 (▲0.1)	9,899 (1.6)	9,768 (▲1.3)	9,735 (▲0.3)	9,685 (▲0.5)	9,537 (▲1.5)
うち子取用雌豚(千頭)	918 (▲1.3)	907 (▲1.1)	915 (0.9)	910 (▲0.5)	937 (2.9)	902 (▲3.7)	900 (▲0.2)	900 (0.0)	885 (▲1.6)
うち肥育豚千頭以上層(千頭)	6,874 (74.7)	7,232 (79.0)	7,379 (79.7)	7,500 (80.8)	7,833 (82.3)	8,022 (84.8)	7,974 (84.9)	8,007 (85.5)	7,980 (86.4)
頭数シェア(%)									
一戸当たり平均 飼養頭数(頭)	1,095.0	1,233.3	1,292.6	1,347.9	1,436.7	1,625.3	1,667.0	1,738.8	1,809.7
一戸当たり平均 子取用雌豚頭数(頭)	118.1	133.8	139.5	145.6	158.0	176.5	183.7	194.7	206.4

資料:農林水産省「畜産統計」

注:17年,22年及び27年は世界農林業センサスの調査年であるため比較できるデータがない。

また、18年及び23年の()内の数値は、それぞれ16年、21年との比較である。

飼養動向：鶏(採卵鶏)

- 飼養戸数は、近年、小規模飼養者層を中心に年率4～6%の割合で減少。
- 成鶏めす飼養羽数は、平成11年以降減少傾向で推移した後、19年は増加したが、20年以降、再び減少。一戸当たり飼養羽数は、着実に増加。

○ 採卵鶏飼養戸数・羽数の推移

(各年2月1日現在)

区分／年	16	18	19	20	21	23	24	25	26
飼養戸数(戸)	4,090 (▲5.8)	3,600 (▲12.0)	3,460 (▲3.9)	3,300 (▲4.6)	3,110 (▲5.8)	2,930 (▲5.8)	2,810 (▲4.1)	2,650 (▲5.7)	2,560 (▲3.4)
うち成鶏めす10万羽以上層(戸)	348 (9.3)	352 (10.7)	365 (11.6)	356 (11.9)	350 (12.4)	336 (12.5)	327 (12.8)	328 (13.5)	324 (14.0)
戸数シェア(%)									
成鶏めす飼養羽数(千羽)	137,216 (▲0.1)	136,894 (▲0.2)	142,765 (4.3)	142,523 (▲0.2)	139,910 (▲1.8)	137,352 (▲1.8)	135,477 (▲1.4)	133,085 (▲1.8)	133,506 (0.3)
うち10万羽以上層(千羽)	74,359 (54.5)	82,260 (60.1)	88,453 (62.0)	91,543 (64.3)	91,001 (65.2)	90,083 (65.7)	90,314 (66.8)	91,556 (68.8)	93,476 (70.0)
羽数シェア(%)									
一戸当たり平均									
成鶏めす飼養羽数(千羽)	33.5	38.0	41.3	43.2	45.0	46.9	48.2	50.2	52.2

資料：農林水産省「畜産統計」

注1：種鶏のみの飼養者を除く。

注2：数値は成鶏めす羽数1,000羽未満の飼養者を除く数値である。

注3：平成17年、22年及び27年は世界農林業センサスの調査年であるため比較できるデータがない。

また、18年および23年の()内の数値は、それぞれ16年、21年との比較である。

飼養動向: 鶏(ブロイラー)

- 25年から統計が変わったことから、21年以前の数値とは接続しないものの、傾向として、飼養戸数は、近年、小規模飼養者層を中心に減少で推移。26年は1.7%減。飼養羽数は、増減を繰り返し推移。
- 一戸当たり飼養羽数は着実に増加し、特に大規模層(年間出荷羽数50万羽以上)のシェアは拡大傾向。

○ブロイラー飼養戸数・羽数の推移

区分／年	16	17	18	19	20	21	25	26
飼養戸数(戸)	2,778	2,652	2,590	2,583	2,456	2,392	2,420	2,380
(対前年増減率)	(▲2.1)	(▲4.5)	(▲2.3)	(▲0.3)	(▲4.9)	(▲2.6)	(一)	(▲1.7)
飼養羽数(千羽)	104,950	102,277	103,687	105,287	102,987	107,141	131,624	135,747
(対前年増減率)	(1.2)	(▲2.5)	(1.4)	(1.5)	(▲2.2)	(4.0)	(一)	(3.0)
出荷戸数(戸)	3,240	3,120	3,065	2,991	2,925	–	2,440	2,410
うち50万羽以上層(戸)	157	170	185	194	203	–	225	230
戸数シェア(%)	(4.8)	(5.4)	(6.0)	(6.5)	(6.9)	–	(9.2)	(9.5)
出荷羽数(千羽)	589,957	606,898	621,820	622,834	629,766	–	649,778	652,441
うち50万羽以上層(千羽)	179,296	195,529	211,470	217,617	225,436	–	270,778	270,971
羽数シェア(%)	(30.4)	(32.2)	(34.0)	(34.9)	(35.8)	–	(41.7)	(41.5)
一戸当たり平均 飼養羽数(千羽)	37.8	38.6	40.0	40.8	41.9	44.8	54.4	57
一戸当たり平均 出荷羽数(千羽)	182.1	194.5	202.9	208.2	215.3	–	266.3	270.7

資料:農林水産省「畜產物流通統計」、「畜產統計」

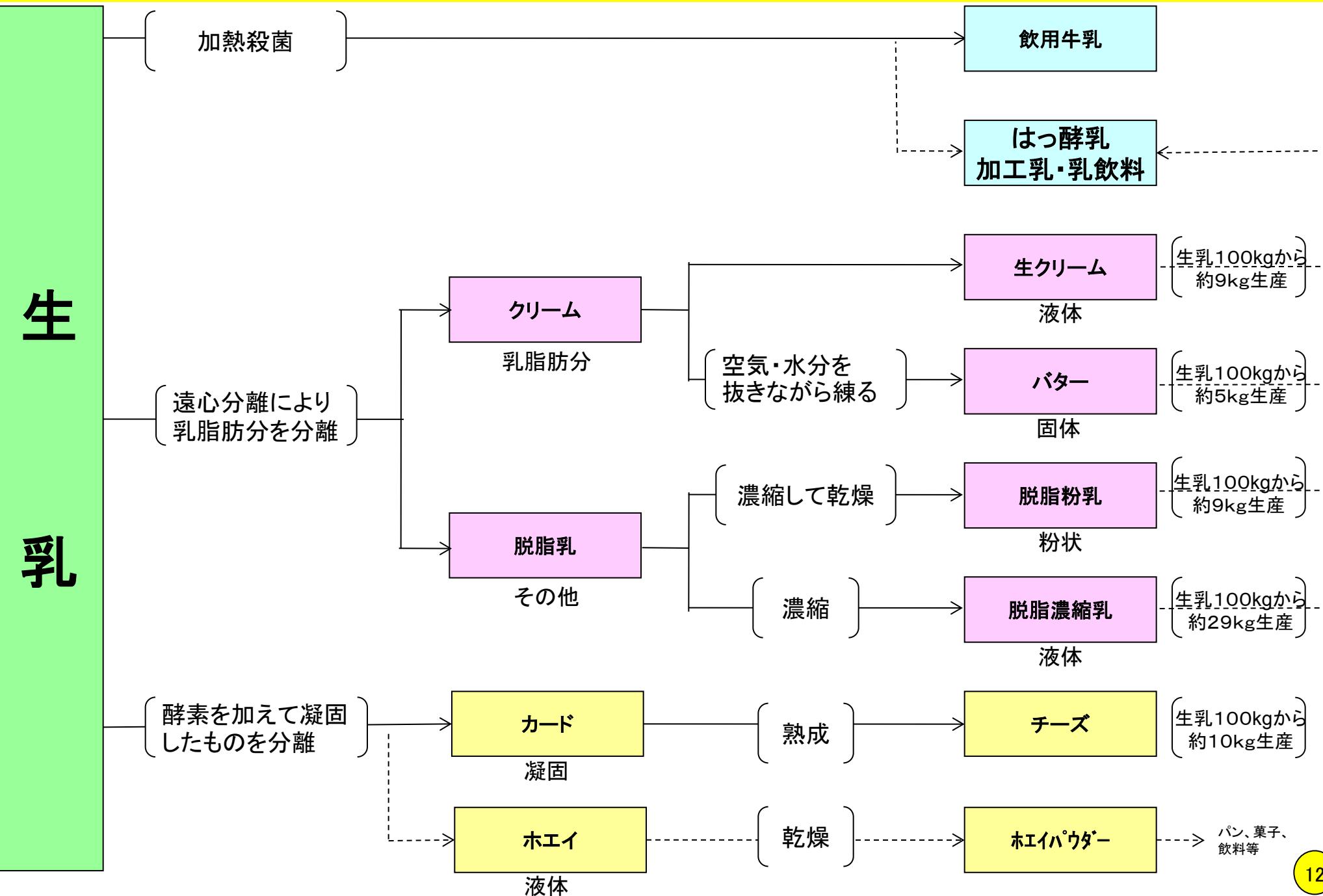
注1:飼養戸数及び羽数は各年2月1日

2:21年までは畜產物流通統計、25年は畜產統計における調査となっており、21年以前の数値とは接続しない。

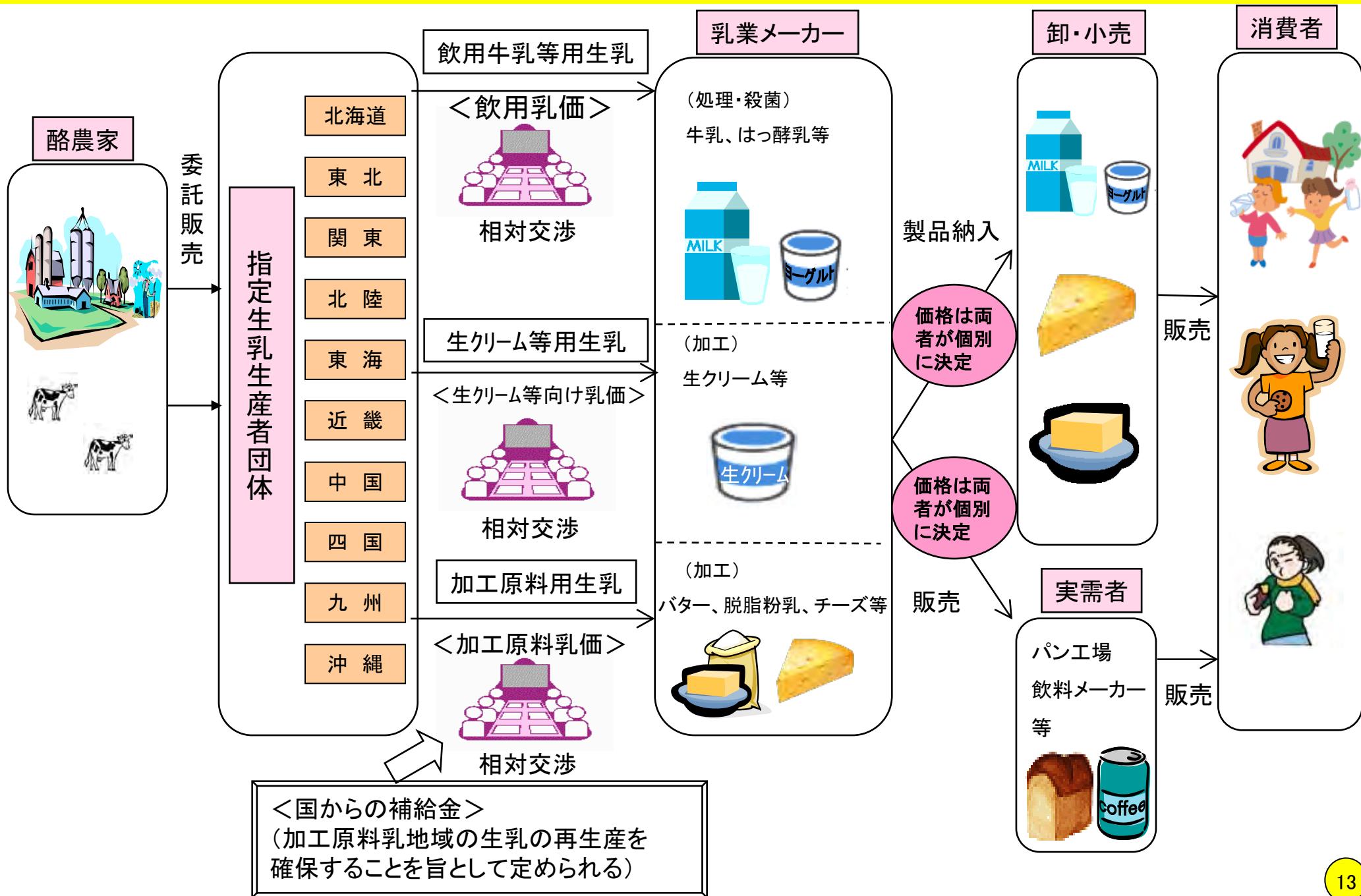
3:25年以降の数値は、年間出荷羽数3,000羽未満の飼養者を除く数値である。

4:平成27年は、世界農林業センサスの調査年であるため比較できるデータがない。

牛乳乳製品の製造工程



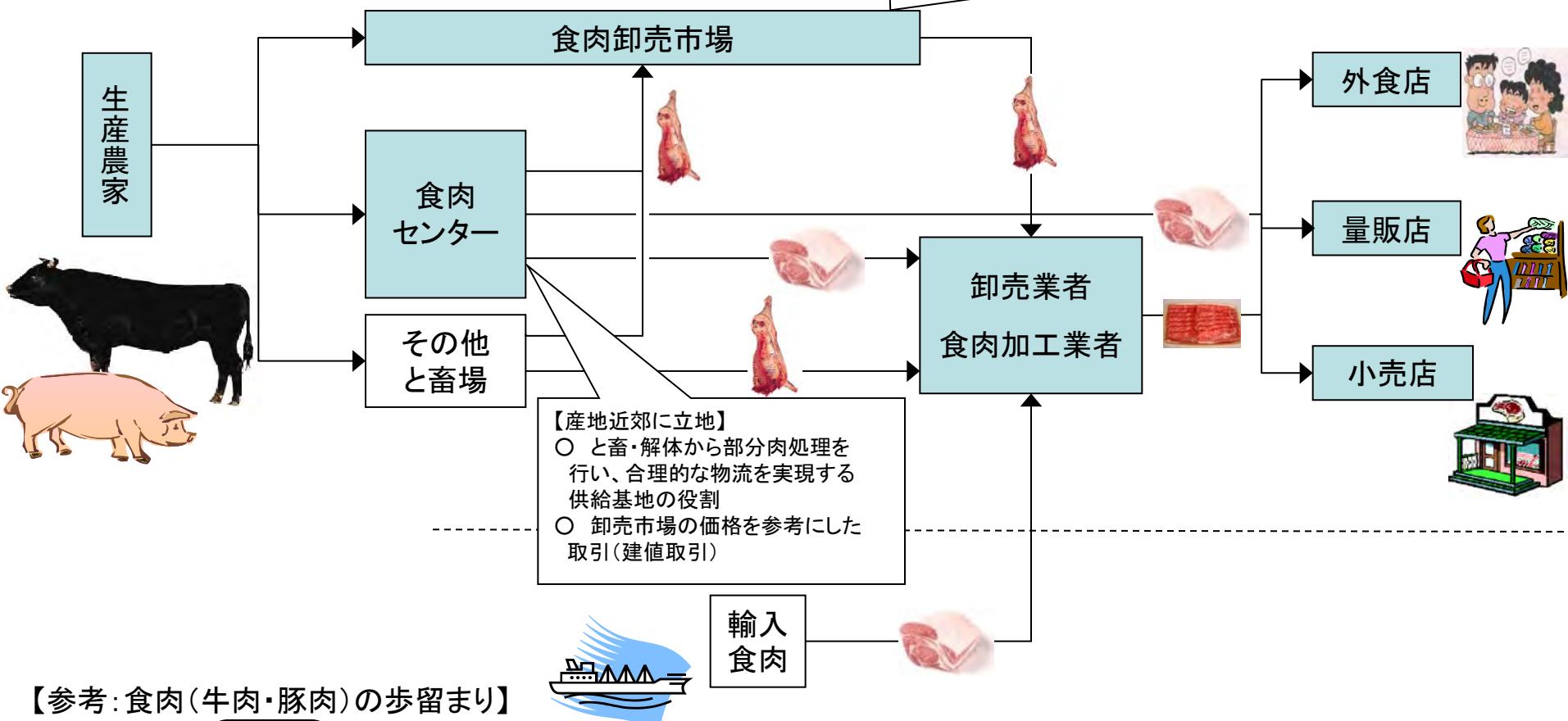
牛乳乳製品の流通



牛肉・豚肉の流通

【消費地近郊に立地】

- 消費地における集分荷・物流機能(豊富な品揃え、迅速・確実な集分荷、決済)
 - 多数の購買者が価格をセリ合い一番高い価格をつけた者が買い受ける「セリ売」により枝肉卸売価格を形成(→建値形成の機能)



【参考: 食肉(牛肉・豚肉)の歩留まり】

